

大阪国際交流センター・ラジオクラブ 新年会

1月8日、大阪国際交流センター 小橋常務理事のご出席を得てJ13ZAG新年会が開催されました。



後列左から：JO3LZG, JA3IVU, JA3QUU, JA3USA, JO3BAV, JP1TRJ, JE3BEQ,
前列左から：JA3AOP, JA3AA, 小橋常務理事, JR3MVF, JA3AER

シャッターチャンス JA3AER 荒川泰蔵

< この欄はシャッターチャンスをご紹介します >



出初式(1月10日)、大阪狭山市の消防出初式は、毎年狭山池に接した「さやか公園」で開かれています。防災訓練と違って我々アマチュア無線家はお呼びでなかったのですが、マンションのベランダから見学しました。大阪府の消防ヘリが狭山池上空に飛来して盛り上げましたが、狭山池に向かっての一斉放水では強い逆風で観客にしぶきがかかったようです。

ロシア7日間 旅行記

JA3IVU 北井 十生

GWのペルー旅行に引き続き、2009年8月のお盆休みを利用してロシアに行ってきました。といっても「サンクトペテロブルク」と「モスクワ」の2都市だけです。

ロシアは以前から行ってみたい国の一つでした。6月のある日、JA3LGP足立さんから「ロシアに行かないか」と声がかかりました。いつごろ聞くと8月15日からだけど成田発だよと聞かされ、なんで成田まで行くのか。関空発はないのかといろいろ調べてみましたが出発日と行き先が合うツアーがありませんでした。そうなのです関空から欧米には日本の航空会社は飛んでないのです(コードシェア便という姑息な手段で便名だけはありますが)、世界中の国でその国の第2都市の空港から自国の航空会社が欧米に飛んでない国は日本ぐらいでしょうか。8月15日発で7日間だと土曜日出て金曜日に帰る日程ですので帰って来たときに時差ボケのほかに都合がよいことでこの日程にしました。

6月の末にいざ申し込んでみるとう満員。東京って人が多いからかなと思いつつキャンセル待ちで申し込む。7月なかごろ旅行社から行けるようになりましたとの連絡がありほっとしました。こういうツアーはキャンセル料が取られる前にキャンセルしようとする人がいつもいるようです。いままでキャンセル待ちで本当に行けなかったことはない。

というわけで8月15日まではお盆も休まず仕事。8月14日のクラブの月例会に出席しました。(いつもの場所とかわりましたが……)

準備は2~3日前からしていましたので8月15日06時に家を出て関空(KIX)へ(成田に行くのになぜ?)08時45分発JL52便(国内線ではなく国際線です)で成田(NRT)へ。足立さんは伊丹から成田へ。成田11時05分発のJL44便に乗り約10時間でモスクワのドモジトボ国際空港(DME)へ16時15分無事到着しました。ここで初めてツアーの人たちが揃う。全員で27人。もう一班あり28名。モスクワに4つある空港の中で一番近代的らしいがどうみても超大国のそれも首都の空港とは思えない。時間つぶしに苦労する。

20時15分発S400041便 約1時間25分でサンクトペテロブルク プルコヴォ国際空港(LED)に無事到着。1日(通算すると3時間ぐらいの感覚)に3回も飛行機に乗るとやはり疲れます。この空港にはいまどきこの空港にもあるボーディングブリッジがない。バスだ。ロシア第二の都市だというのにどういこうと。空港の真ん中でバスが止まりビルの中に入る下へ降りるとこれまた長くて速い「動く歩道」500mぐらいあったかな。荷物を受け取り一同バスへ、22時をすぎているのにまだ明るい。ホテルに着くころには暗くなっていた。ホテルは市の中心部から少し離れている。地下鉄で駅3つぐらい。長かった8月15日が終わった。

8月16日朝はゆっくりスタート 現地ガイドは女性の「エリーナ」さん。流ちょうな日本語を話す。09時半にホテルを出て中心部へいよいよロシア観光の始まりだ。まずはエルミタージュ美術館へ。ここはロシア一番の名所 人がいっぱい。何か国の人がいるのかわからない。日本人のツアーもかなりいた。ツアー以外で個人旅行の場合は延々と並ぶそうです。東京ビッグサイトの「ガンダム展」のようです。階段、廊下、部屋には飾るところがないぐらい絵画、彫刻がたくさん展示されている全部をゆっくり鑑賞していたら何年かかるかわからない。ガイドさんの後を追って説明を聞きながら見ていく。最近は特小の無線機(送信のみ)とツアー客用には受信機を持たせてイヤホンで聞いているので少し離れていても説明は聞ける。ほんと便利。この受信機にはEU仕様とかかかっている。日本とは少し周波数が違うようだ。こんなことが気になるのは「無線病」かな。

たくさんありすぎて説明をいっぱい聞いたがなにか消化不良を起こしそうです。日本の浮世絵、伊万里焼なども展示していました。

4時間ほど歩いているうち疲れて昼食を館内の喫茶店で昼を過ぎていたので甘いものしか残っていなかったがお菓子のようパンとコーラを買って食べました。館外へ出ると雨が降っている。次は「イサク寺院」へ。これまた大きく中は金ぴかではなかったが落ち着いた建物でした。



エルミタージュ美術館 「大使の階段」



エカテリーナ宮殿

夕食となるのですがまだ陽が高くとてもその気ならないが食べる。ホテルに帰り となりがスーパーマーケットなので買い出しへ。この店、外見はとてもスーパーとは思えない建物、中に入ると日本のスーパーと同じでした。水と土産を購入した。両替は関空でしておいた。(1050円で3000ルーブル)食料品は日本よりかなり安い(給料が違うのであたり前だ)。

8月17日、朝から郊外に「エカテリーナ宮殿」へ、また雨がいまにも降りそう。バスを降りて宮殿の入り口まで15分ほど歩く。途中で演奏する「バンド」が我々の顔を見て日本の曲を演奏している。その横にちゃんと「箱」がおいてある。

この中もまた、満員、いろいろな国の人たちが来ている。そう言えば港に豪華客船が停泊していた。このお客さんたちらしい団体が番号旗を持ったガイドにつられて何組もきていた。宮殿の中は「土足厳禁」なので靴の上にビニール袋をかぶせてから中に入る。また、ここもきらびやかいわゆる「きんきらきん」よほど金色が好きらしい。琥珀の間」ここだけは撮影禁止。ほんとに琥珀色

もっと広い部屋かなと思っていましたが意外と狭い部屋でした。(狭いといっても日本の部屋の狭さとは桁がちがいます。)中の見学が終わって外へ出ようとしたら大雨。傘をさして庭へしばらく歩いていると雨が上がり晴れてきた。いったいこの天気はどうなってるの????次は「ピートル大帝の夏の宮殿」へ。途中で昼食。午後「夏の宮殿」ここは噴水がたくさんあり あちこちで水を噴き上げている。建物の中には入らず庭のみ。いたずらの噴水」があり 若い女の子が来ると水を出す。横に若い男の子がおり 何知らぬ顔をして足でスイッチをオンにしている。



エカテリーナ宮殿

その後、市内に帰り「聖イサク寺院」へ建物のらせん階段で塔屋まで上がった。夕食後「運河クルーズ」へ。サンクトペテルブルグはネバー川の河口にできた街なので市街地を運河が無数にありそこを屋根の低い遊覧船に回るもの。大阪の中之島界限を観光船でみるような感じです。橋が低く頭上すれすれに抜けていく。川の水はさほどきれいではなかったが水上から見る景色は陸上から見る景色とはまた違った味があった。



ピートル大帝「夏の宮殿」

8月18日はモスクワへ移動する日なので朝早く出発し朝食もお弁当です。サンクトペテロブルク プルコヴォ国際空港 (LED) からモスクワの北部にあるシェレメチエボ空港 (SVO)へ、ここはかつてはモスクワのメインの空港だったらしい。あまりぱっとしない空港である。国内線であるのであまり気にせず外へバスに乗って黄金の環と呼ばれる古き良き時代のロシア建築と中世の雰囲気を残す古都が点在している都市の一つの「セルギエフ・パサード」へ。12~18世紀のロシア正教の建造物が数多く残されている。ビザンチン様式から発展し、白い石灰石を積み上げ、その上に天気もいいので金色の円蓋屋根が輝きとてもきれいだ。

つぎはロシアの民芸品といえばこけしのようで中にちいさなこけしがいくつも入っている「マトローシュカ」の「絵付け」体験。焼き物の絵付けをしたことがあるがこれは初めてでなかなかうまく塗れない。工場見学もした。旋盤を使い「ノミ」で薄く削っていくと大きなものからだんだん小さくなったマトローシュカができていく。

いよいよモスクワ市内へ道路は渋滞、天気はまた雨が降ってきたと思ったらすぐに止む。そうこうしているうちにホテルに到着した。

このホテル最近までカジノをしていたとのことでネオンサインがきれいに光っている。となりと言っても1kmほど離れているが「モスクワ大学」がある。そこから見る夜景がきれいとのことなので行って見たが「六甲山からみる神戸の100万ドルの夜景」より少なかった。100万ドルもなかった。

8月19日、ロシアの中心部「クレムリン」へ 09時開門で並んだのは私たち一番目だった。しばらくすると数百mの行列ができていた。

入り口ではものものしい荷物検査があり無事通過し、中に入る一番だったので前には人はいない。ここは少し金ピカが少ないがやっぱり教会のたまねぎ形の屋根は金色だった。「赤の広場」から地下鉄に乗る。改札口からホームまで深くて遠い「超高速のエスカレーター」で降りる。日本だったら必ず苦情が殺到するこのスピード。なんでこんなに深いのか？ 理由はいろいろとあるらしい。乗り心地は昔の大阪の地下鉄かなというくらい。しかし駅の天井、壁、柱の彫刻、絵などすばらしい。

大阪の実用本位の駅とは格が違う。一応アナウンスと電光掲示板で次ぎの駅名が出るがロシア語なので????である。

朝食を済ませ、「赤の広場」へ。昔ここでいろいろなパレードをしているのをテレビで見たことがある。テレビで見ると広く見えたが現地に行くと思ったより狭かった。

広場の前に「ゴム百貨店」がある。いろいろな種類のお店がたくさんあります。もちろんブランドショップも。

夜は、「ロシアン・ナショナル・ダンスショー」へ。ある大きなホテルの隣に1000人以上入る大きな劇場で開演されている。ここもいろいろな国の人が見に来ている。2時間ほどのショーで「ロシア民謡」「バレエ」など多彩でした。よく聞いたことのある「ロシア民謡」が唄われました。開演中はビデオ撮影、写真撮影は禁止なのですが団体で来ていた中国人と思われる人が何回も撮影し、係りに注意を受けていました。

8月20日いよいよロシア最後の日になった。ロシアの芸術が多数ある「トレチャコフ美術館」へ。こじんまりした美術館だが内容は充実している。

そして、また「赤の広場」へゴム百貨店で朝食を済ませ、帰国のためドモジエトが国際空港 (DME)へ一時間くらいかかった。成田への直行便 (JL 442)18時の出発まで空港内で暇をつぶす。ここでロシア通貨を全部使ったと思っていたら出てきた。残金で買えそうな土産を探す。出かけるときは3人席の窓側でとなりはロシア人の若いカップルだったので帰りの席は一番後ろを取った。ここはギャレーは近いが食事などサービスが一番最後だった。

夕食後、眠たくない寝てしまった。目を覚ますと日本海の上まで来ていた。8月21日 08時 25分成田に無事到着。

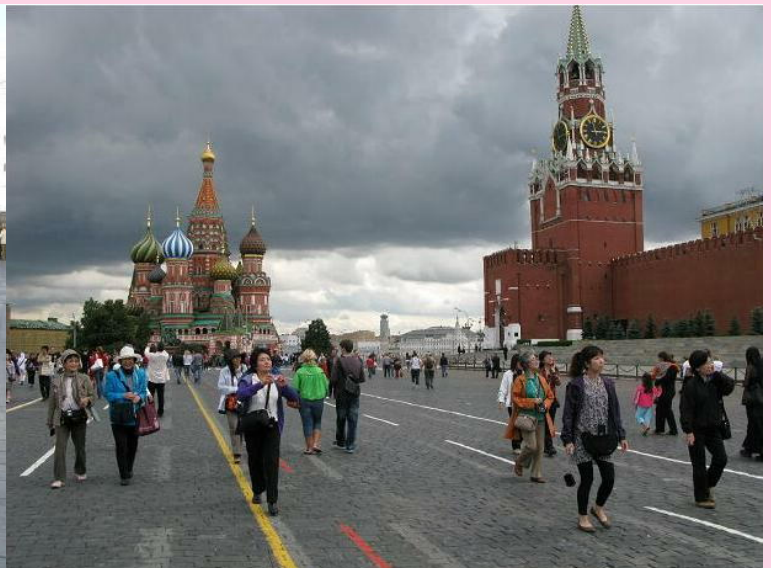
降りたら「ムツ」する暑さに参りました。とあえず荷物を宅配便で送るため運送屋さんへ (なんで送るのかって？ それは8月22日から東京ビッグサイトに行くのに重たいでしょう)

ここで無線のお話

- ・ アマチュアのアンテナは見かけなかった。
- ・ サンクトペテルブルグの中心部のビルの屋上に5エレか6エレのHFの八木が……
- ・ 携帯電話のアンテナがポツリポツリしか立っていたので圏外になることが多かった。
- ・ ホテルでは日本語の放送はなかった。しかしCNNとBBCはあった。
- ・ 郊外の建物 (軍かな?)にはHF用のロンビックアンテナがあった。



クレムリンに入る行列



J13ZAG

大阪国際交流センター・ラジオクラブ

関西ハムシンポジウム

JA3PYC 山本 哲夫

玄関 移動アンテナ車

尼崎エーリックで開催された2010関西ハムシンポジウムは小雨の中、例年通り(のかな)の参加者を集め盛況でした。会場では、JA3AER荒川氏、JA3IVU北井氏に会うことが出来ました。また、駅から会場の間でJP3AZA河田氏の元気な姿を見ることが出来ました。しかし、河田氏の復帰にはもう少し時間が必要とのことでした。

ジャンク市

ジャンク市

ジャンク市

電子申請説明

公開運用
8N3I/3 JA3YR1/3

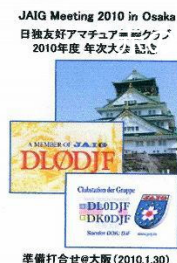
抽選会

JAIG Meeting 2010 in Osaka 手間もなくです

JA3AER 荒川泰蔵

関係者には既にご案内の通り、来る3月25日から30日までJAIGミーティングが開催されますが、それを2ヶ月前に控えた1月30日、JAIGの主宰者であるDF2CW 壱岐さんが仕事で来日され大阪に立ち寄られましたので、ラジオクラブの準備有志であり、着々と準備を進めておられるJE3BEQ宮本さんとJA3QUU西間さんと共に壱岐さんの宿泊先である天王寺東映ホテルを訪ねお互いの準備状況の確認を行いました。現時点での参加者数は、壱岐さん達ドイツからの一行が13名、ラジオクラブのメンバーが15名、一般の参加者(ドイツから個人的に来日参加する人を含む)が27名の合計55名です。ホテルでの打合せ後、新装なった天王寺ステーションビルのレストラン街で、壱岐さんの希望されたお好み焼きを楽しみながら歓談しました。

写真上、お好み焼きを楽しむ左からJA3QUU, JE3BEQ, DF2CW, JA3AER。
写真下、特別郵便切手(フレーム切手)を貼って大阪中央郵便局の消印(風景印)を押印した記念のカバー試作品。JAIGミーティングで参加者に記念品として配布の予定。



準備打合せ@大阪(2010.1.30)